

公益財団法人日本書道教育学会主催の第66回書道学会展で、最優秀である内閣総理大臣賞を受賞した林田さん。

受賞作品の書は、中国の古代の青銅器に彫られた文字を題材にしたもので、長さ約2・7mの画仙紙2枚1組にそれぞれ8文字ずつの漢字を力強く書き上げたもの。

審査では「群を抜き内閣総理大臣賞にふさわしい作品。学会展の誇りともすべき作品である」と高く評価されました。

百折不撓の思い

「書道一筋でやってきて50年。この学会展を、毎年自分の表現

本格を目指すには、根っこが大事



百折不撓の挑戦により手にした内閣総理大臣賞の栄冠

を確認する場として取り組んできました。私にとってこの賞は、はるか彼方の存在で、山に登る者が憧れをもって見上げる天空の頂のようなものでした。そんな私が、百折不撓（何度失敗してもくじけず挑戦すること）の思いで続けて、やっと神様が微笑んでくれた頂点です」と笑顔で話します。

基本の大切さ

「五十までは古典としっかり向き合いなさい」

大学時代の書の恩師の教えが、林田さんの書の根幹をなしています。「先人が残した優れた書を受

け止めて、そこから自分なりの表現を高める。すぐに自分の表現をしたいと脱線しそうな私を、この言葉が本道へと導いてくれました。先生に基本の大切さ、本格的な書を目指す姿勢を教えていただきました。今回の受賞はまさに師の教えのおかげです」と話します。

林田さんに書への思いを聞く
と「墨線は、どこまでも高く、深く心に響くものでありたい。また作品は、情感豊かに、見る人の心に染みるものでありたい。これからもそんな書を書きたいです」と熱を込めて話しました。



3月9日に市長を表敬訪問し受賞を報告。市に受賞作品を写真に収めた額を贈呈しました。

上のQRコードを読み込むと市公式ホームページに飛びます。林田さんの書に対するインタビュー動画（1分）を掲載していますので、ぜひご覧ください。



目の不自由な人のため
音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。
「広報はつかいち」のウェブサイト、アプリ、図書、点訳本があります。問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎0294

はつかいら人 vol.17

廿日市市で輝く人を紹介します

書家 林田 香濤 (本名利明) さん (74歳・大野原)

編集後記

「はつかいら人」で取材させていただいた林田さん。お話を聞かせていただいたときに、私の中学時代の恩師に何度も言われた言葉「基本に忠実に」「努力に勝る才能なし」を思い出しました。

どのジャンルでも同じですが、一流の人こそ地道に努力を積み重ねていますし、基礎がしっかりしていなければ、自分のオリジナルは生み出せないと思いましたが、また林田さんの「百折不撓」という言葉に、何度失敗しても諦めず、愚直に挑戦し続ける思いの強さを感じ、とても胸に響きました。

私も、原点に立ち返って頑張ろうという気持ちになりました。

西岡秀治

この4月から市役所に入庁し、広報はつかいちを担当させていただくことになりました。広報への配属を聞いたとき、これからの多くの出会いに対するワクワク感と、たくさんの方の目にとまる広報紙を作ることに強い責任感を感じました。今回「出前トーク」のページを編集したとき、広報担当は、市政全般の知識を幅広く収集できる環境であることに気がきました。そういった学べる環境を生かすも生かせないも自分次第。「新人であることを言い訳にしない」を目標に、今年一年頑張りたいと思います。

澁谷里香

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
☎082920001(代)・☎082921059
編集 分権政策部 経営政策課 広報統計グループ
ホームページアドレス <http://www.city.hatsukachi.hiroshima.jp/>
フェイスブックアドレス <http://www.facebook.com/hatsukachicity>